

尾島図書館だより

2月号

蔵書点検のお知らせ

2月18日(水)～24日(火)まで蔵書点検のため、**休館**いたします。利用者の皆さまには、大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解、ご協力をお願い申し上げます。

※休館中の返却について

休館中の図書の返却は《返却ポスト》をご利用ください。
CD・DVD等の視聴覚資料につきましては、破損の恐れがありますので、開館時にカウンターにて返却ください。

※貸出期限の延長について

蔵書点検中は、システムの都合により電話での貸出延長ができません。ホームページから延長手続きができますので、ご利用ください。

汚破損・紛失などでの資料の弁償が増えていきます。CDやDVDなどは高額の弁償となる場合もあります。図書館の資料は、地域の皆さんの**大切な財産**です。資料のお取り扱いには十分お気をつけください。

2月の休館日

2日(月) 9日(月) 16日(月)
18日(水)～24日(火)

芥川賞&直木賞

第174回受賞作品決定

《芥川賞》

現在の選考委員は、小川洋子・奥泉光・川上弘美・川上未映子・島田雅彦・平野啓一郎・松浦寿輝・山田詠美・吉田修一の各氏です。



「時の家」

鳥山まこと/著 講談社

ここで暮らしていた人々の存在の証を、ただ、描きとめておきたい。その家の床を、柱を、天井を、タイルを、壁を、そこに刻まれた記憶を。目を凝らせば無数の細部が浮かび、手をかざせば塗り重ねられた厚みが胸を突く。幾層にも重なる存在の名残りを愛おしむように編み上げた、あたらしい建築文学。



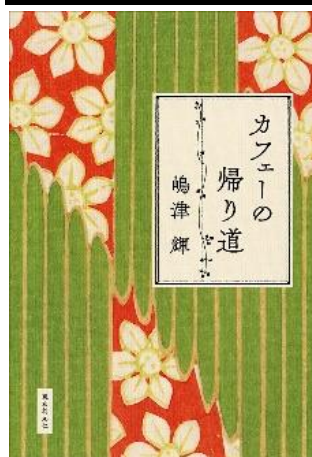
「叫び」

畠山丑雄/著 新潮社

早野ひかるは「先生」に打ちのめされ、銅鐸と土地の来歴を学び始める。ここではかつて罂粟（ケシ）栽培と阿片製造が盛んで、満州に渡って「陛下への花束」を編み、紀元 2600 年記念万博を楽しみにしていた青年がいた。いつしか昭和と令和はつながり、大阪と大陸で響き合う夢とロマン溢れる恋愛政治小説。

《直木賞》

現在の選考委員は、浅田次郎・角田光代・京極夏彦・桐野夏生・辻村深月・林真理子・三浦しをん・宮部みゆき・米澤穂信の各氏です。



「カフェーの帰り道」 嶋津輝/著 東京創元社

「カフェー西行」、それは個性豊かな女給がいる食堂や喫茶も兼ねた近隣住民の憩いの場。竹久夢二風の化粧で注目を集めるタイ子、小説修業が上手いかず焦るセイ、嘘つきだが面倒見のいい美登里を、大胆な嘘で驚かせる年上の新米・園子。彼女たちは「西行」で朗らかに働き、それぞれの道を見つけて去って行ったが……。大正から昭和にかけ、女給として働いた“百年前のわたしたちの物語”。